

## 様々な交流のかたち

滋賀県とミシガン州が 1968 年に姉妹友好提携を結んでから、今年で 50 年になりますが、県内だけでなく、彦根市や大津市をはじめ県内 11 の市町が、ミシガン州内の 13 の市 (City) や郡区 (Township) との姉妹都市関係を持つに至っており、一部では中学生の相互派遣を通じた交流も行われるなど、日米間の自治体交流として、滋賀・ミシガンの草の根の交流関係は特筆すべきものがあります。

また、これらの姉妹都市 (Sister City) に加え、友好都市 (Friendship City) として交流を続けている地域もあります。姉妹都市と友好都市との違いは、行政どうしの提携書面の有無や交流内容の幅広さなどで区別されている向きもありますが、国際的に統一的な基準はないようです。

滋賀県内の友好都市の交流としては、湖南省とセント・ジョーンズ市の絵画交流展があり、毎春、セント・ジョーンズ市の図書館では同市内の小学生が描いた絵画とともに、湖南省の小中学生の絵画が展示されます。期間初めにはちょっとしたレセプションも開かれ、私にも案内が届くのですが、この案内を受け取ると、「ようやく春が来た。」と感じます。実に 23 回目の絵画交流展となる今年は、4 月 10 日にレセプションがありました。現地には昨夜降ったという雪が道端に少し残っていましたが、日暮れ時でも分厚いコートはもはや不要なほどの気温でした。

図書館に入ると既に大勢の家族連れで溢れていました。閲覧スペースのあちこちに、およそ 150 の様々な絵画作品が掛けられ、湖南省の善水寺や美しい街の風景、中には“ゆるキャラ”を描いたもの、タヌキを描いたものなど、滋賀を嬉しく思い出す多くの絵とともに、セント・ジョーンズの生徒たちが描いたミシガンの風景や動物を描いた絵が並んでいました。色づかいか表現の違いも感じられ、今年も見ている楽しい展示でした。

レセプションでは、滋賀県そして湖南省の紹介とともに、地元の小学生たちによって日本の童謡が披露され、「Sha-bon Da-ma To-n-da ♪」や「Yu-Ki Ya Konko ♪」といった歌に続き、「Ware-wa-U-mi-no-ko- ♪」で始まる『Biwako Song』まで！思わず一緒に歌ってしまいました。

